

選ぶのは自分

「**食べるもので()がつくられ、
聞いた言葉で()がつくられ、
発する言葉で()がつくら
れる**」

これは、横浜ブリキおもちゃ博物館館長で、テレビ東京の「開運！なんでも鑑定団」にレギュラー鑑定士として出演しておられる北原照久さんの言葉だそうです。

さて、()の中にはどんな言葉が入るでしょう？

答えは「食べるもので**体**がつくられ、聞いた言葉で**心**がつくられ、発する言葉で**未来**がつくられる」です。

たしかに、体をつくるもとになるのは毎日の食事です。栄養のバランスのよいものを適量食べることが体づくりの基本です。好き嫌いは体づくりのマイナス要因でしょう。

また、前向きな言葉を耳にすると心が元気になります。言葉だけでなく、音楽や絵画、映画などの優れた作品は心の栄養になります。逆に人を傷つける言葉や自己中心的な発言は聞きたくありません。嫌な気分になります。

そして、自分が発する言葉は、自分自身の心の表れであり、自分自身の未来を左右します。自分やまわりの人を元気づける言葉や安心感を持たせる言葉、励ましの言葉などは、自己実現や人間関係を良好にすることなどにつながります。絶えず不平不満や愚痴、否定的な言葉、他人の悪口を言っているようでは明るい未来なんか来るわけがないと思います。

ということで、大人の務めとして、子どもたちに、良質の食事を与えたい、前向きな言葉や優れた作品に触れさせたい、自分やまわりの人を元気にさせる言葉を語れるように育てなければ、と思います。

考えてみれば、自分が食べるものも、聞こうとしている言葉も、そして自分が口に出そうとしている言葉も、自分で選ぶことができるものです。良い悪いは別として、好きなものだけを食べて、嫌いなものは食べないという選択肢もあるわけです。また、「○○さんは癪(しゃく)にさわる話をするから聞かなくていいや。」「大好きな△△さんのことだからしっかり聴かなくちゃ」という選択肢もあります。

知識や判断力が十分備わっていない子どものうちは、親や周囲の人に選んでもらわないといけません。成長するにつれて、自分で選ぶことができますようになります。そして、いずれは自己責任で選択しなければならなくなります。

そうなったときに、どういう選択をするのか。自分の未来は自分が決める。自信と信念と責任感を持って選択できる人に育てていかなければと思います。

コロナ禍の学年末

本年度も残り一月余りとなりました。子どもたちは、それぞれの学年のまとめに頑張っています。コロナ禍により、近距離で一斉に大きな声で話す活動や音楽科での合唱及びリコーダーや鍵盤ハーモニカ等の器楽合奏、

家庭科の調理実習などは、感染リスクが高い活動であるとされているため実施を控えています。まん延防止等重点措置が解除されたら、球磨管内の感染状況を確認しながら授業を徐々に通常の状態に戻していきたいと考えています。

感染防止対策は気を緩めることなく、学びの保障に取り組んでいかなければなりません。緊張の日々はまだ続きそうですが、子どもたちの笑顔が何よりの元気の源です。

3月の主な行事予定

- 1日(火) 委員会活動
- 2日(水) 花の宅配便打合せ
分館児童会
- 4日(金) お別れ遠足
- 9日(水) 授業参観・懇談会
- 10日(木) 花の宅配便
- 15日(火) 卒業式総練習
- 22日(水) 6年修了式
卒業式準備
- 23日(水) 卒業式(1～5年休み)
- 24日(木) 1～5年修了式
- 25日(金)～学年末休業日
- 29日(火) 退任式

※3日(木)に予定していた授業参観・懇談会は、まん延防止等重点措置期間が延長されたため、9日(水)に延期しました。再度の延期となり保護者の皆様にはご迷惑をおかけし、申し訳ありません。

※卒業式は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、町内3小学校すべて、卒業生と保護者(2名まで)、学校職員、教育委員会のみでの参加となります。在校生とご来賓の出席はありません。